

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

<b>研究領域名</b>	コンピューティクスによる物質デザイン：複合相関と非平衡ダイナミクス
<b>領域代表者</b>	押山 淳（東京大学・大学院工学系研究科・教授）
<b>研究期間</b>	平成 22 年度～平成 26 年度
<b>科学研究費補助金審査部会における所見</b>	<p>本研究領域は、計算物質科学と計算機科学の連携により、抜本的アルゴリズムの改良や超並列計算に対応するプログラミング開発を行い、精緻な物質機能予測手法の確立を目指すものである。ハードウェアの発展に即した数理手法の開発を、複合相関と非平衡ダイナミクスという明確な問題設定のもと推進することで、従来の計算物理学の枠組みを超えた「コンピューティクス」と言うべき新しい学術分野の構築が期待される。建設中のスーパーコンピューターの戦略的活用法としても重要な意義を持つ、まさに時宜を得た研究領域の提案であり、今後の画期的な進展が期待される。</p>